Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

The Clinical Difference in the Platelet Counts between Liver Cirrhosis with Nonalcoholic Fatty Liver Disease and Hepatitis C Virus

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-12-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 五十嵐, 悠一 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032623

様式（6）

学　位　審　査

学　位　番　号	乙　第 3014 号	氏　　名	五十嵐　悠一
審　査　委　員　会	主　査　教　授	田中　淳司	

論文審査の要旨（400 字以内）

五十嵐　悠一氏は非アルコール性脂肪性肝疾患、C 型肝炎における血小板数の臨床的意義について検証した。
本研究では非アルコール性脂肪性肝疾患(nonalcoholic fatty liver disease; NAFLD)と C 型肝炎における血小板低下率の比較、機序について検討を行った。肝線維化程度を一致させて血小板数を比較すると、NAFLD の血小板数が有意に高値であった。また肝硬変症例を診断するための血小板数カットオフ値も NAFLD は 16.0 万/μL(感度 86.7%、特異度 87.6%、AUC 0.930)と C 型肝硬変の 12.7 万/μL(57.8%、88.2%、0.863)より高値に算出された。脾腫程度の割合に有意差は認められなかった。したがって、両疾患の血小板数減少率の差異は他の因子が関与していることが示唆された。
NAFLD、C 型肝炎の肝硬変診断において血小板数低下は有用な手段だがカットオフ値が異なる事を考慮し診療にあたるべきであることを明らかにした。
またこの研究に関して直接質疑を行ったところ氏は適切に説明解説を行う事ができた。

本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。（本学学会雑誌に公表）[学校教育法学位規則第 8 条]